

発
情
中


の

体
験
版

メ
ス
ド
ラ
ゴ
ン



つじもが町に殺^メってきた



発情中のメスドラゴンをご購入、誠にありがとうございます。

作中に登場する名称および現象などはすべてフィクションです。
現実のものとは一切関係ありません。

本作品のアップロード、私的目的以外での複製頒布は
法律により禁止されております。

発見した場合法的手段を講じます。
絶対しないようお願い申し上げます。

序章

ドラゴンをご存知ですか？

とくにメスのドラゴンは凶暴で
発情中はさらに気性が荒いと言われています。

昨今、自動車が上から押しつぶされる怪事件が頻発しています。

巨人に踏みつけられた、宇宙人の仕業だ、
地元の悪がきのイタズラだ、など様々な憶測が飛び交いましたが、
あれは発情したドラゴンが卵を産み付ける為の寄生生物と
自動車が似ていることから起こる擬似生殖行為ということを知っている人は少ないでしょう。

これを知る者の中にはドラゴンカーセックスと呼び
欲情するような性癖の者も居るとか居ないとか……。

ある家に居候しているメスのドラゴンも、発情期を迎えていました。

その家が代々魔術師の一族の家柄だったため、
被害は最小限に抑えられたようですが……

起こった被害はまったくゼロではないのです。
ドラゴンは恐ろしい生き物なのですから……。

発情中のメスドラゴン 目次

3p.序章

5p.月曜日

翔太君、イケナイものを見る
(のぞきはいけません)

18p.火曜日

半人前の魔術師
(一生懸命なのはいいことです)

36p.水曜日

翔太くんのお姉さん、すごい
(すごい、にもいろんな意味がありますね)

47p.木曜日

魔術師の独占欲
(独り占めはよくないですね)

60p.金曜日

素直になる儀式
(自分に嘘はつけません)

71p.土曜日

お預けの午後
(裸で正座待機ってやつですよ)

82p.日曜日

何事もなかったかのように過ぎ去る嵐
(めでたしめでたしです……か?)

93p.終章

94p.あとがき

発
情
中
の

メ
ス
ド
ラ
ゴ
ン

つじもが町に殺^メってきた

発
情
中




月曜日

翔太君、イケナイものを見る
(のぞきはいけません)

メ
ス
ド
ラ
ゴ
シ

つじもが町に殺[×]ってきた





その夜、翔太くんがトイレに起きると
リビングで鎖につながれたルコアがパパに跨り、
なにか儀式めいたことしていました。

「我が魔術師が放つ白い血のほとぼしりを持って、
その禍々しい情欲を鎮めたまえ……」

なまめかしく体をクネらせ、自分に見せる表情とは違う
ひどく淫猥で高揚した表情……

「はやくっ……はやくう！」

「くうう……すごい締め付けだ……ッ！」

翔太くんは息を呑み、その光景を食い入るように見入っていました。

パパがやっていることにはきっと意味があるはずだ
そうでなければ裸であんなふうには抱き合ったり、
ルコアとあんな事をするはずないっ！

あの悪魔が魔法でパパを魅了したのか？
いや違う、首輪をして魔力を押さえ込んでいるのは
きっとパパの力だ……どうして……

翔太くんはパパのことを信頼していたので
すぐにでも飛び込んで何をやっているのか聞くべきだと
自分でもわかっていながら、なぜか覗き見を続けてしまいました。





「うっ！」

「あはあ！すごいッ！すごおい！」

パパの勃起したペニスから、勢いよく飛び出す精液。
ルコアの顔にかかり、それを興奮した表情で浅ましく浴びる彼女。

あれはパイズリだ・・・
インターネットで見たエッチなサイトに載っていた
大きなおっぱいを使って行う変態行為。

自分も大きくなったら、ルコアの胸でその行為をしたいと
ずっと願っていたその変態的なプレイを
パパがやっている・・・。

翔太くんはいけないものを見てしまったような感情、
パパとルコアがそういう関係を結んでいることに対する
整理のつかない気持ち、こみ上げ抗うことのできない
性の高まりが頭の中でごちゃ混ぜになって、
何もできず股間を膨らませながらそれを見つめていました。







「ああ・・・あはあ・・・うれしい・・・もっとほしいなあ・・・」

「はあはあはあ・・・これ程度では、さすがに足りませんか・・・」

今度はパパが後ろからルコアの尻を抱きかかえました。
まるで動物の交尾のようにつながる二人。

パパの腰の動きに突き上げながら、ルコアは豊満な胸を
ブルンブルンと震わせ息を荒げて喘いでいる。

「セックスしてる・・・パパと・・・ルコアが・・・」

他人のセックスを直に見ることがはじめての翔太くんにとって
それが何か意味のある儀式であるはずと思考する余裕は
もう既にありませんでした。

めまいがするほどの動悸と、張り詰めた股間。
無意識のうちにその硬く勃起した陰部を
手で押さえていました。





激しい動きが続き、ルコアのうっとりとした表情からもれるなまめかしくも激しいあえぎ声が途切れました。

「いやっ・・・中ッ！中にだしてえ」

「静まれ・・・情欲の魔物ッ！静まれ・・・！」

パパがルコアの尻肉をつかみ、それに自分の肉棒を挟んでしごきます。ぬるぬるになった肉棒は豊満な尻肉に挟まれながら前後してパイザリの時みたく激しい刺激をペニスに与えているようでした。

すごい・・・すごく気持ちよさそう・・・
ルコアの体で・・・あんなに気持ちよくなってる・・・

翔太くんは無意識のうちに自分のペニスを握っていました。あんなふうになりたい、やわらかく豊満な彼女の肉で自分のコレを挟みたい・・・あんなふうにしてルコアを喜ばせたい・・・

「あっ！あっ！あああ～！！」

ルコアがなまめかしく苦しいような声を漏らすとその声は翔太くんの中でイッパイに響き渡り彼女が感じているかのような絶頂に貫かれました。





ウッ！ウウッ！

パパのペニスから白く白濁した体液が飛び出しました。
翔太くんの股間にもどくんどくと抗えない快感が慟哭しています。

初めての射精、ルコアとパパのセックスをみて、
初めての精通を体験してしまいました。

そしてその股間に溢れるぬらぬらとした温かみには
特別な魔力が宿っていると分かりました。

「はあはあはあ・・・あ、ありがとう・・・
これで、今週は何とか・・・」

「はあはあはあ・・・私の力ではもう抑え切れません・・・
やはり、この時期は一度帰られては・・・？」

(え、ルコアが帰る・・・？そんな・・・)

パパとルコアの会話を聞きながら、
ルコアが帰らなければならないような事態になっていると知る翔太くん。

そっと部屋に戻ると、濡れたパンツのままベッドに戻りました。
ルコアが帰る・・・言いようのない寂しさと不安の中
初めての射精と、魔術師独特の精力の消耗で、
すぐに深い眠りに落ちてしまいました・・・。



発
情
中



火曜日

半人前の魔術師

(一生懸命なのはいいことです)

メ
ス
ド
ラ
ゴ
シ

つじもが町に殺^{スレ}ってきた



体験版はここまでです！
続きは製品版でお楽しみください！



2017年6月8日発売開始！
DL版600円(税別)
パッケージ版600円(税別)